

# 会 議 録

会 議 名	第3回真庭市北町公園のあり方検討委員会
日 時	令和4年10月28日(金) 午後2時00分～午後4時40分
場 所	真庭市役所 本庁舎 2階会議室
出 席 者	<出席委員> 12名 <欠席委員> 3名 <遷喬小学校> 教師1名 5年生5班7名 8班7名 7班8名 <事務局> 4名 <関係課> 8名 スポーツ・文化推進課、危機管理課、生涯学習課、子育て支援課、 総合政策課、交流定住推進課、建設課、建築営繕課
傍 聴 者 数	傍聴者 10名程度
次 第	1.開 会 2.あいさつ 3.報告事項 4.協議事項 (1) 遷喬小学校 5年生の発表「北町公園 未来予想図」 (2) 「わたしたちの北町公園を描いてみよう」 5.閉 会

## 1.開会

(事務局)

本日はご参集いただきありがとうございます。

ただ今から、第3回真庭市北町公園のあり方検討委員会を始めさせていただきます。

本日、司会進行をさせていただきます、真庭市役所建設部都市住宅課長でございます。よろしくお願いいたします。3名の委員の欠席連絡をいただいております。

## 2.あいさつ

(事務局)

次第に従いまして、委員長、あいさつをお願いいたします。

(委員長)

はい、みなさんこんにちは。

今日は5年生の子供たちがきていますので、大人として恥ずかしくない会としたいです。

このみなさんの近くにある公園、北町公園のこれからの形を考えていく委員会のお兄さんお姉さんたちです。

みんなの学校にある委員会と同じような感じで、特別に作られた委員会です。

私は、この委員会の委員長をしています、岡山大学の教育学部の体育にいて体育の先生を育てるところで仕事・先生をしているんですね。

今日は、みなさんが考えてきてくれた、今日これから発表してもらおう北町公園の未来の形を聞かせて頂いて、その後、私たちも、みなさんと同じように、今日、絵を描きます。公園の絵を。今日、発表したら次もあるので（皆さんは）すぐ帰ってしまうという事なんですけど、今日発表してもらって、それで終わりという事ではなくて、できればあの、今これからね、本格的にちゃんと作りますから、どういう形になっていくのかということもきちんとみなさんに伝えられると良いなと思います。

ぜひ今日は、良い発表をしてください。もしかするとみなさんが考えたものが、そのまま計画になっちゃったりするかもしれませんが、

色々なヒントを私たちももらいたい。ぜひ、よろしくお願いいたします。

委員の皆様、今日はそこに、模造紙がありますね、現在の北町公園の地図と、白地図にして入れ物だけにした地図と、2種類あります。で、体育館については今と同じサイズのを参考までに、カードで配布してあります。同じサイズで置くとしたら、どこにおこうかな？ということが、体育館に関してはできると思います。

子供たちの発表の内容もちろん、観ていただいた上で、これまでのね、あり方・機能について踏まえていただいて、グループでまず話合っ一緒に描いていただいて、最終的に、その2つを合わせて、共通点ですとか、こっちの方が良いかもね、といった点を総合して今日は終わりたいと思います。白熱した議論をお願いいたします。

では、本日もよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、副市長からごあいさつを申し上げます。

(副市長)

失礼いたします。委員の皆様方には、大変お忙しい中、本委員会にご出席いただきありがとうございます。えーまた本日は、遷喬小学校の5年生の皆さん方が、「私たちの北町公園を描いてみよう」ということでしっかり考えてきてくださったということでございます。緊張せずに、勉強していただいた、考えていただいた結果をですね、しっかりと報告していただければというふうに思います。楽しみにしています。

さて、これまで2回のこの検討委員会におきまして、活発な議論を行っていただき、将来の北町公園の理念・そして必要となる機能などについて整理をしていただいているところでございます。

本日の第3回目以降の委員会におきましては、こうした理念や機能などを踏まえながら各種のゾーンの設定や、機能・施設の配置など、より具体的な内容についてご意見をいただく予定といたしております。

こうした議論に入っていただくに当たりまして、市におきまして、前提条件として想定している点など、いくつかあらかじめお伝えをしておくべき項目につきまして私の方から、少しお話をさせていただければと存じます。

まず、前回の委員会でご報告をさせていただきました、認定こども園でございますけれども、「こども・子育て会議」の議論なども踏まえまして市として、北町公園内に設置する方針をした所でございます。後ほど担当課より説明をさせていただきます。

きますけれども、今後、公園全体の構想との整合性とも十分配慮しながら、具体的な検討を進めていくことと致しております。

なお、こども園の設置場所でございますけれども、事業者提案なども踏まえまして、公園の北側ゾーンを想定いたしておりますけれども、具体的な面積あるいは位置、こういったものにつきましては、今後公園全体の、議論との整合性も図りながら、さらに検討・決定をしていきたいというふうに考えております。

次に、今回の議論を進めるに当たりましては、現在、公園内にございます、施設・機能に加え、周辺に位置する施設・機能につきましても、幅広く議論の対象とすることと致しております。

このうち、久世公民館でございますけれども、こちらにつきましては、かねてより、耐震性や老朽化が課題となっております。第4次の生涯学習基本計画におきまして、改修または建て替え等を行う場合は複合化・多機能化等を視野に入れ、検討するということになっております。以前よりこうした方針のもと市役所の内部での検討を継続して進めているところでございますけれども、特に、既存施設のリノベーションの可能性あるいは、現在の北町公園とより近い位置にございますエスパセンター旧遷喬小学校と役割分担・関係性の整理、こういった幅広い観点からの検討をまずはしっかりと行う必要があると考えておりまして、現在公園の中にございます生き生きサロンの様な交流学習機能は別にいたしまして、久世公民館が担っております久世エリア全体を見据えた公民館機能につきましては、今回の公園内検討の中から、別途の形で議論・検討を進めてまいりたいと考えております。また現在の都市公園区域に隣接をする位置にございます、久世保育園と市営住宅につきましては、主として、現在の形での利用継続は想定をいたしておりません。

それぞれ関係者の方々の御理解、御協力が前提ということになりますけれども、将来的には、都市公園区域に編入することも想定しながら、将来像を検討していきたいというふうに考えております。

以上今後の議論にも影響があるものと考えまして、新たなこども園、久世公民館、そして現在の久世保育園と市営住宅に関連した、市としての方針、考え方を御説明をさせていただきました。

委員の皆様方には何とぞ御理解をいただきまして、引き続き、北町公園のあり方につきまして、協議の方を進めていただきますようお願いを申し上げます。

簡単ではございますけれども、私の挨拶と代えさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。ただいま、副市長の挨拶のとおり、北町公園のあり方の検討から久世公民館につきましては、別に、市の方で今後検討していくこととな

ります。

なお、委員長につきましては、引き続き、北町公園のあり方のあり方について、御意見をいただきたいというふうを考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

### 3.報告事項

(事務局)

次に、報告事項でございます。

北町公園基本構想策定業務を行う、コンサルタント業者の選定を行いましたので、お知らせをいたします。

10月21日に開催いたしました北町公園基本構想策定プロポーザル審査委員会で、株式会社東畑建築事務所、本社オフィス大阪様が第一候補者に選定されました。本日の会議を傍聴していただいております。

今後、この北町公園のあり方検討委員会でいただいた御意見や、近隣や施設利用者の方々等から、さらに意見聴取を行い基本構想に盛り込んでいきたいと思っております。

また、当委員会にも途中で御意見を伺ってまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

次に、子育て支援課よりこども園関係の報告をさせていただきます。

(子育て支援課)

失礼します。それでは子育て支援課から、御報告をさせていただきます。先ほど副市長が挨拶の中で、お伝えをさせていただきました。重複する部分があるかとは思いますが御了承いただきたいと思っております。

前回の第2回の、この検討委員会におきまして認定こども園設置運営事業者として、決定をいたしました

一般社団法人クレドから北町公園へのこども園の設置という提案があった事とをご報告させていただいたかと思っておりますがこの件につきまして内部で検討を行い、市といたしましては、自然豊かな周辺環境が保育環境に適しておりまして、子ども・子育て会議から提出されました答申書に、久世保育園の現在の場所かその周辺での建て替えあるいは新築を検討することとございましてその方向性が合致すること、また、公園内、都市公園内への、園の設置に当たりましては、都市公園法におきまして、占用許可が制度化されていること、こうしたことから、北町公園内で、設置を認める方向で調整する方針としまして、現在、事業所と関係課によりまして、具体的な設置場所、施設の規模等につきまして、協議を行っているところでございます。

協議に当たりましては、施設の一部2階建ての検討でありますとか、公園全体を視野に入れた、園庭の広さがどういった広さが適当なのかといったことなどの検討など、北町公園の検討委員会での議論を十分意識しながら、整合的となるよう、協議を進めさせていただいております。設置場所、施設規模等が確定いたしましたら、また、こちらの検討会の中でも御報告をさせていただきたいというふうに考えております。

設置場所等の確定後につきましては、各種法令等に基づく手続きを経まして、施設の整備を進めていただき、令和6年4月からの運営開始と、こういうことになってまいりますけれども、今後のおおまかなスケジュールといたしましても、今年度内は引き続き事業者との必要な協議を行う予定としておりまして、現在のところまでの予定といたしましては、令和5年6月頃から建設工事を開始いたしまして、令和6年の2月頃まで、建物が完成予定ということを現時点としては、想定いたしております。

以上、認定こども園の件につきましての現状を分かるところまでの報告させていただきたいと思っております。

## 4 協議事項

### (1) 遷喬小学校 5年生の発表「北町公園 未来予想図」

(事務局)

3の報告事項は以上でございます。次に、4の協議事項に移らせていただきます。

本日は、遷喬小学校5年生の生徒の皆様からの発表に続き、委員の皆様からも、私たちの北町公園を描いてみようということで、こんな北町公園だったら良いなと思うことを描いていただく予定をしております、あまり条件や法律などに縛られず、また考えていただく必要も無いと、いうふうに考えておりますが、特に影響ありそうな事項を最初に述べさせていただきます。

先ほど、子育て支援課から報告いたしました、こども園につきまして、事業者からの、現在、現段階での提案では、北町公園のおおよそ、北側を想定されております。

また都市公園法、先ほどこども園を除いた、建築可能な建物の建蔽率は、公園面積2.4ヘクタールの12%以内、かつ屋外を含めたスポーツ総施設全体では、50%以内という制限がございます。ちょっとスケール感が分かりにくいので、建物のおおよその大きさの型紙を用意しておりますので参考にさせていただけたらと考えております。さらに建築基準法で日影の規定などもございます。体育館などの、あまり背の高い建築物については、北側に寄せて配置するのは困難である、ということになります、ではここから委員長、進行をどうぞよろしくお願いいたします。

(委員長)

はい、じゃあ、5年生の皆さんよろしくって言ったら、もう・・・おじさんたちが何を言ってるか分かんない言葉で、大したこと言っていないんだけど・・・だからだから話すから・・・緊張一気に高まっちゃったと思うんです。ちょっとのびでもして、一回緊張ほぐしましょうかね。

はい、皆さんが練習をしてきたと思いますので、元気よく、聞かせてもらいたいなと思います。

では先生、願って良いですか。はい、では願っていたします。

(遷喬小・先生)

失礼します。

遷喬小学校5年生とその担任をしております〇〇と申します。

よろしくお願いたします。

(拍手)

ありがとうございます。

本日このような、会で子供たちと至る経緯にいたっては、まずこのようなお話をいただいて、総合的な学習の時間で、まちづくりの一環として、みんなで考えていきませんか、子供たちに投げかけたら、子供たちが、もうとてもやりたいという、まちづくりの一翼を担いたいというところからこの学習が始まりました。

色々個々の思い、また、グループの思いで何度も話を重ねていて、私も思い描かないようなことを言う子供たちもいて、とても有意義な、総合的な学習の時間になったかなと思ってます。子供たちには、もう自分は何が子供だからというわけじゃなくて、この会議に出る、もう、一員として、大人と同じ目でやっていきたいという形なので、それなりの思いを持って、これから、皆さんでグループごとで、意見を提案をさせていただけたらなというふうに思ってます。緊張してる場所もあると思いますが、寛大な心で受け止めていただけたらと思います。

(遷喬小・先生)

はい、皆さん緊張してますね。立ちましょう。

はい、では、皆さんの方を向いてください。一度、大きな声で、「よろしくお願いたします」と言いましょうか。はい。それでは頑張ります

「よろしくお願いたします。」

(5年生)

「よろしくお願いたします。」

(拍手)

(遷喬小・先生)

それでは3つの班ががありますので準備が出来ましたらまた私の方からお声かけをします。それでは最初のグループさん準備をしてください、どうぞ、2グループは座ってください。

(遷喬小・先生)

はいそれでは1組目から発表したいと思います。それでは、〇〇君お願いします。

(5班) これから5班の自己紹介を始めます。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

班長の〇〇です。よろしくお願いします。

これから「北町公園から〇〇公園プロジェクト」について、提案をします。

「気を付け、礼」

僕たちの目的

僕たちの目的は「守れ、みんなの命を、一人一人の思いをのせて」です。

なぜこの目的になったかは、障がい者や高齢者の人や妊婦さんなどを、一人一人残さず差別なく、みんなが快適に暮らせるような街にしたいと思い、この目的になりました。

そして、この公園を使って、災害が起きた時、誰も取り残さない公園を作りたいと思い、これを考えました。

僕たちが考えた公園の予想図です。ここにこども園があり、そこの屋根にはソーラーパネルをつけます。後ろには松の木、横には桜の木を植えます。ここに芝生を敷き真ん中のところには噴水をつけます。

ここには防災倉庫、自転車置き場を置きます。向こうの方には、活き生きサロンを置き、その屋根にもソーラーパネルをつけます。

ここに少し小さな公園を作ります。

その横には、体育館を作り、ドングリの木を植えます。

駐車場は変わらずこの位置に置きます。ベンチを、色んなところに置くことに

よって、高齢者の人たちが、休めるところ、スペースが増えると思ったからです。

生き生きサロンがあることで、子供たちが、来てくれて遊んでくれると思いました。

グリーンの提案です。

木を植える事で、虫と触れ合えるのが良いと思ったからです。理由は、特にクヌギ、ハルニレでコナラには、カブト虫、クワガタが寄ってくるので子供たちが捕まえて遊べるのが良いと思ったからです。

次に公園の入り口に、つたでできたアーチを置く、です、日陰にもなるしみんなが休める場所にもなるのが良いと思ったからです。

二つ目のグリーンの提案をします。

一つは、どんぐりの木と松の木を植えると良いと思いました。

そうすると工作に役立てて誰でも楽しめる公園になると、公園に人が集まって皆が遊べる公園になるからです。もう一つは芝生を敷いて枯れない芝生にすると良いと思いました。そうすると怪我が少なくなり子供たちが皆楽しめる公園になるからです。

グリーンの三つ目の提案をします。

桜の木を植える。桜の木を植えると花見ができるし、色んな人が集まれるからです。

桜の木は4本植えたいと考えています。

防災の提案です。

災害時には、携帯電話の回線が繋がりにくくなる場合があります、なので、Wi-Fiが使える公園にしたいです、Wi-Fiが使えると携帯やタブレットが使えるようになります。

次に、カーボンニュートラルの提案です。

公園には木や花をいっぱい植えようと思いました。ではその木や花の良いところについて説明をします。

一つ目が、森林浴効果です。これは、ストレス緩和やエネルギー回復の効果があります。

二つ目が、空気清浄効果です。これは植物は二酸化炭素を吸うと酸素に変えてくれます。

これがあることで、快適な公園を作ることが出来ます。皆さん疲れてると思います。

その時には、この公園に来てみてください。癒やされると思います。

次は、環境に良い太陽光発電についてです。太陽光発電にはソーラーパネルをつけます。

ソーラーパネル1枚には、どれぐらいの電気を作るのかということです。

それは1KWhから、1200KWhです。例えばドライヤーは、120KWhほど使います。

そして、一つの世帯には4322使われます。しかし、公園は3倍ほどなので、12966、使われることとなります。これはすごく多い電気の、電気を使うようですが、この広い土地を使い、色んなところにソーラーパネルを貼ることで、電気を作ります。しかし、ソーラーパネルだけでは賄えない場合があります。その時には、こういう遊具で電気を作ると思いました

一つ目はシーソーです。落ちる時の振動で発電をします。

で、ブランコ、次にトランポリンです。これは落ちる時の振動で発電をします。

ソーラーパネルにターザンロープ、噴水を使います。噴水は、水力発電と同じ感じで発電をします。

バイオマス発電です。これは、地域の人にも知ってもらえるし、発電も出来ます。

最後に、回転遊具です。これは、回る力で発電をします。

こういう遊具などがあることで、子供たちも遊べるし、発電もできて、一石二鳥です。

次に、共生の提案します。

私は点字ブロックを設置することを提案します。

理由は視覚障がい者の方などが点字ブロックがあると公園に誰でも来れるようになり、安全に誰でも楽しめることができるからです。

共生の二つ目の提案は、誰でも来れる公園にしたいと思いました。

理由は、高齢者や大人の方が運動不足になっていると私は考えました、理由は、高齢者の方や、大人の方が遊べるためには、高齢者ができる運動や、お花を植えたりすると、高齢者の方も笑顔いっぱいになると思ったから、誰でも来れる公園にしたいと思いました。

公園が変わるということで、5班では名前を決めました。

それは、「みんな公園」という名前です。なぜ「みんな公園」になったかは「みんな」を取り残さない、皆が笑顔になるという、「みんな」というキーワードを使って、「みんな公園」という名前になりました。

これで5班の発表を終わります。最後までありがとうございました。

「気を付け。礼」

(拍手)

(遷喬小・先生)

では2組目をお願いします。はい。

(遷喬小・先生)

では、2組目の準備が出来ましたので、では、〇〇君をお願いします。

(8班) はい。これから、8班の自己紹介を始めます。

「気を付け、礼」

(拍手)

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

班長の〇〇です。よろしくお願いします。

はい。これから、北町公園から、「にこにこ公園化計画」についてお話しします

「気を付け、礼」

(拍手)

次に目次です。

1に課題を言います

2と3は、グリーン of 提案を言います。

4は、カーボンニュートラル of 提案を言います。

5、6、7は、防災についての提案を言います。

8は、共生 of 提案を言います。

9は、自分たちの思いを言います。

課題について説明をします。

僕たち私たちの目標は四つの機能、グリーン、共生、防災、カーボンニュートラルが揃った新しい公園をすることです。

グリーンでは、「地球に優しい公園を作る」ことを提案します。

次に、共生です。共生では、外国の人や障がい者、高齢の方でも誰でも来れるような、公園を作ることを提案します。

次に防災です。防災では、台風など、大きな災害が来た時にも対応できるように、避難所をつくったりすることを提案します。

次に、カーボンニュートラルです。カーボンニュートラルは地球温暖化の原因にもなる、CO<sub>2</sub>を排出させないようにすることを提案します。

こちらが構図です。

分かりにくいですが、こっちが北です。ここに、こども園があり、グラウンドには花壇があります。一番真ん中に久世のシンボルになるかもしれないクスノキがあります。

次、こっちに入り口の近くに体育館があります。そして防災倉庫があります。

プールがありその屋根の上には太陽光発電所があります。ベンチがあり、点字ブロックです、道は。生き生きサロンには、木の遊具があり、ミニゴルフ場です。ミニ植物園とミニ動物園があります。

グリーンの最初の提案は、「木の遊具を作る」ことです。

こちらの画像を見てください。このような大きな遊具があると、まず子供たちも集まれるし環境にも優しいので、これを提案します。

次にこちらの画像を見てください。

ベンチからベツトが出てくるようなベンチがあれば、防災に、災害が起きた時にも役立つし、これを提案します。

次に2つ目のグリーンの提案をします。

提案は、「ミニミニ動物園やミニミニ植物園を作る」ことです。こちらの画像を見てください。このようなかわいい動物がいたら。来た人が癒やされたりするかもしれません。

次に、こちらの画像を見てください。このような植物園を作ることで、地球温暖化の原因になる二酸化炭素を排出させないようにすることを提案します。

カーボンニュートラルについて提案します。提案したのはSDGsです。

こちらの図を見てください。こちらのようなソーラーパネルがあると、地球環境に有害な二酸化炭素を排出しません。次に、こちらの図を見てください。こちらのような、風力発電所があると、もし停電だとかした時に発電ができるので良いと思いました。

防災からの提案です

一つ目の提案は「体育館の近くに防災倉庫を作る」です。理由は、災害が起きた時に避難する場所に、防災倉庫があると便利だと思ったからです。二つ目の提案は、プールを作るです。理由は火事が起きた時にプールの水を使って火を消せると思ったからです。大体防災グッズが売ってある場所は100均店舗です。100均ではダイソーやセリアに売ってあります。店舗では、無印良品、ニトリ、イオンなど、14店舗ありました。

私たちが特に必要だと思う防災グッズは、水、食料品、ヘルメット、マスク、軍手、懐中電灯、コーンなどが必要だと思いました。これらを防災倉庫に入れると良いと思います。

次に、避難所の暮らしについて言います。このように、ベッドや段ボールの個室が有ることで、避難してくる時に、安心して避難できると思います。なので、この2つを用意しておくが良いと思います。

次に、共生の提案をします。

一つ目の提案は、「障がい者の気持ち体験できる施設を作る」です。上の画像を見てください。このように車椅子を使っている人や、目が見えない人の体験をすることで、障がい者の人の大変さが分かり、障がい者の人にも優しくしようという気持ちが生まれると思います。

二つ目の提案は「保護されている動物と触れ合える施設を作る」ことです。

そうすると、感情が豊かになったり殺処分されることが少なくなると思ったからです。

三つ目の提案は、「お年寄りが集まれるためにミニゴルフなどができる場所を作る」です。

理由は、お年寄りの人たちが、安心して、楽しく集まれる場所を作りたいと思ったからミニゴルフなどができる場所を作ることを提案します。

僕たち私たちの思い、僕たち私たちは安心安全で、環境にも優しい誰もが集えるところを作り、久世に色々な人たちが来てもらえる明るい公園を作りたいなという思いが有るから、この公園を提案しました。だから、この公園ができると、みんなが安心していけるし、避難場所が有るから、被害を受ける人を増やさないことを考えています。

最後まで見ていただきありがとうございました。これで8班の発表を終わります。

「気を付け、礼」

(拍手)

(遷喬小・先生)

はい。3組目の人どうぞ。

(遷喬小・先生)

はい、それでは、最後の組となります。それでは、〇〇さん、お願いします。

(7班) これから7班の自己紹介します。「礼」

(拍手)

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

〇〇です。よろしくお願いします。

班長の〇〇です。よろしくお願いします。

これから「ふれあい公園」の発表を始めます。

「礼」

(拍手)

僕たちが考えた公園の名前は「ふれあい公園」という名前です。

理由は、大人から子どもまで、障がい者、高齢者など、みんなが触れ合える公園をつくれたら良いなと思ったからです。なぜこれをやろうとしたか、〇〇さんに公園づくりを提案されて、その話を聞いて、私たちは、自然豊かで、環境にもよくて、地域の人たちが安全安心に暮らしたり、老若男女に関係なく、障がい者でも来れる公園を作りたいなと思ったからです。

これは僕たちが考えた、公園の想像図です。

まず、入り口の近くに生き生きサロンを置き、生き生きサロンの近くに公園を置き、公園の隣には畑、ビニールハウスを置きます。そして、こども園の近くには花壇を置いておいて、子供たちが喜んでもらえるようにします。そして、トイレも近くにあり、防災倉庫も近くにあって、自販機も近くに有ると便利なので、そうしました。

体育館の避難所は、入り口の近くにあり、掲示板も近くにあります。

そして、老人ホーム・病院は、お年寄りも使える病院が有ると便利だからです。

そして、トイレがこっちにもありゴミ箱もあります。

そして入り口には桜を置いて、お花見が出来たりして良いです。  
檜は二酸化炭素を吸ってくれるのでとても良いと思い置きました。  
もみじは紅葉がとてもきれいなので置きました。

建物が古くなり、壊れそうになっている。来る人が減ってきて、賑やかではなく  
なっている。これらが、今の北町公園の問題点だと僕たちは考えました。

まず最初にグリーンの提案をします。

グリーンの提案は檜を植えることをお勧めします。理由は、天然乾燥材とって、  
激しい脳前頭前野の活動沈静化つまり、落ちつかせる事が研究により確かめられて  
います。

これらのことが分かったので僕たちは檜を植えることをお勧めします。

グリーンの提案の二つ目は、「ふれあい公園」に植えたい芝生です。「ふれあい  
公園」に植えたい芝生は、高麗芝という芝生で、日本で、広く自生している芝生で、  
日本芝の中で最も低温に強く寒い地域でも使用できます。成長が遅いため、頻繁に  
刈り込む必要がなく手入れは比較的簡単です。

この写真を見てください。

このように、庭に使われたりゴルフ場に使われたりするので、寝転がっても、と  
ても気持ち良いと思ったので良いと思いました。

カーボンニュートラルの、一つ目の提案は、植物を植える事です。

こちらの画像を見てください。1985年から2020年までに二酸化炭素が増えて  
きています。

そのため二酸化炭素を吸ってくれる木を植えようと考えました。その木を子供た  
ちに、植えてもらうことで、子供たちが自然を学ぶことができると思いました。

このグラフを見てください、ブナやクヌギよりもはるかに吸収量が多い杉があり  
ます。でも杉は花粉が多く出ることから、私たちは、2番目に吸収量が多い檜を選  
びました。

防災から出た提案で、防災倉庫とは、災害が発生した際に食糧品や、衛生用品な  
どの生活に必要なものを確保するための非常用保管倉庫です。あのイラストを見て  
ください。

イラストの中に入っているようなものを入れておくと便利です。上のイラストは、  
避難所と、防災倉庫が近くに有るといざとなった時に、便利なものを早く取り出せ  
るから良いと思いました。

このグラフを見てください、このグラフを見て分かるように、懐中電灯やラジオが多いので、懐中電灯やラジオが多く有ると良いと思いました。なので私たちは「ふれあい公園」に懐中電灯やラジオを置くことにしました。

この写真をみて分かるようにブランコはテントにもなるのでブランコを漕ぐことで発電もできるし一時的な避難場所にもなるので良いと思いました

#### 共生の大事なこと

共生の大事なことは、具体的に接し関わりあう中で、障がいの有る人と無い人がともに知り合うことが、共生社会実現にとってとても重要なことです。そのために、共生社会というものがあります。共生社会とは、障がいの有る人と無い人が具体的に接し関わり合う中で全ての人の尊厳が守られる社会のことです。

#### もみじを置く理由

もみじを置く理由はおじいさんやおばあさんが、もみじを見て癒やされてほしいと思ったし、おじいさんやおばあさんだけでなく、子供から大人まで楽しんでほしいとも思いました。

#### 世界の人のために

世界の全ての言語が載ったポスターを貼ると良いと思います。もし、北町公園に外国人などが来ると、ポスターを見て、見ると、困る事が少なくなると思います。

#### 段差が無い公園

階段の段差を無くすと良いと思います。階段の段差を無くすと、高齢者などが足腰を痛めるかもしれないから、もし段差が無いと痛めることがなく楽に北町公園に来ることが出来ます。

#### この公園で大切なこと

災害が起きた時、建物の中に避難できるように避難所を作り、みんなの命を守ること。あと、みんなが触れ合えるような、楽しめるようなにぎやかな公園にすることが大切だと思います。

これで終わります。最後まで見てくださりありがとうございました。

「礼」

(拍手)

(遷喬小・先生)

はい、ありがとうございました。3組の提案をさせていただきました。

実は、この3組だけではなくて、今、教室には、残りの7組、全部で10組が同じようなことを考えて、総合的な学習の時間の中で、それぞれのプレゼンをするという時間を設けさせていただきました。

この中では紹介出来なかったんですが、面白いな素敵だなと思う提案が、残りの7班の中でも、たくさん出てきました。

残念ながら、今日、紹介は出来なかったんですが、今テレビ（テレビ会議システム）で見えています。この子たちも自分なりにこんな公園があったら良いなあという思いを描きながら、公園をつくってくれました。

どんな形であろうとこの子たちは、この体験を通したことで、大人になってあそこのそばを通った時に、何かしら感じてくれるんじゃないかなというふうに思っています。

そしてこのような会に大人と同じ目線で参加出来たことはとてつもなく、良い経験になったかなというふうに思っています。担任としてとてもそこをうれしく、良い機会をとらせていただいたなというふうに思っております。

勝手ながら、今、教室で見ている子たちにも、拍手を贈ってあげたいなというふうに思っています。皆さんで拍手を贈ってあげてください。

（拍手）

（事務局）

ちょっと落ち着きましょうか。

（遷喬小・先生）

ありがとうございます。はい、今日はみんな頑張りました。ありがとうございました。

（拍手）

（遷喬小・先生）

それでは5年生の皆さん立ちましょう。はい、緊張したことだと思います皆さん聞いていただきました。しっかりとお礼を言いたいと思います。

じゃあ皆さんの方に向きましょう。教室の皆さんも良いですか、みんなでお礼を言いたいと思います。

（遷喬小・先生）

教室の皆さん、良いですか準備良いですか、それでは、先生の後についてきてください。

今日、本当に良い機会を作っていただきました。

(5年生)

ありがとうございました。

(拍手)

(委員長)

はい、ありがとうございました。公園一つを考える。本当に、総合的な学習ですね、そういうような、一つ一つのことを丁寧に、もらさず深く考えてくれて本当に参考になりました。

みんな、学校から帰る途中に公園遊びに行ったりすることが多いのかな？そんなことない？

何となく、みんながつくっている、パワーポイントの公園の図は、学校から公園に向かって入ると右手にこども園があって、左手に入り口が有るっていう配置になるのはみんなの目線でいうと、公園入り口は、東側に有るような感覚が有るのかなと思いましたね。

ちょっと我々は、南北が上下になってる地図しか見てなかったの、横から見るんですよね。そういう見方をする感覚を持ってなかったです。そもそも根本的にそこが見てる世界がやっぱり違うんだなと思いましたね。

はいあの、今日これから、委員会の人たちで、皆さんがやったように絵をかきたいと思います。地図も残しておいていただいて幾つか参考にさせていただきたいと思います。

みんなの学習は、もう少しまだまとめが有るんですよね。

(遷喬小・先生)

まとめがありますね。

(委員長)

はい、本当に何ていうんですか、勉強のために、これやったわけじゃなくて、本当にこれから公園を、実際に作り変えていきますから、皆さんもそれをきちんと、追いかけて考え続けてくれると良いなと思います。

実際にみんなが使う人達ですから「あ、こんな公園になったんだなあ」とか「これ、俺たちが考えたやつだ」みたいにでてきたら良いなと思います。

はい、ありがとうございました。色々もう、考える、考えさせられることばかりで、言いたいことたくさん有るんですけど、時間も有るでしょうから。改めて、拍手したいと思います。

ありがとうございました。

(拍手)

(事務局)

では、どうでしょうか。はい、では、入れ替えて良いですか。はい。

(遷喬小・先生)

忘れ物が無いように荷物持ちましょう。じゃあ荷物持って。

さようなら お疲れ様

(委員長)

委員の皆さん、子供たちが実際に通路まで書いてくれたんで、あれぐらい具体的なところまで描いていただきたい。ここら辺にこんなもの、何となくここら辺とか、ぐるーと大きい丸とかじゃなくて配置してください。それが法律上どうだとか、コストはどうだとかいうことは一切考えないできちんと地図にしていいただきたい。

(遷喬小・先生)

じゃ、退場しましょう。はい。帽子も取りましょう。それじゃあ帰ります。帰ってお勉強します。

(委員長)

授業がまだ続くということで、それではありがとうございました。

(5年生)

「ありがとうございました。」

(拍手)

## (2)「わたしたちの北町公園を描いてみよう」

(委員長)

いやあ、〇〇さん今お幾つですか

(委員)

はい？

(委員長)

今、歳おいくつですか

(委員)

僕ですか？66です

(委員長)

66ということは彼らが〇〇さんの歳になるまで、あと50～5年ぐらいですね。55年前、私は生まれてない。

こんなね、携帯電話どころじゃないソーラーパネルも無いそんな時代ですから、55年後、〇〇さんの歳になった彼らが、この公園をどういうふうに使ってるかっていうことを考えると、子どもの口から「カーボンニュートラル」、切実ですよ。我々は何か、良い話ししてるなーぐらいでカーボンニュートラルと言ってますけど、55年先の気温は一体どうなってるだろうと想像すると、彼らにとっては結構具体的に切実な問題なんだろうと、改めて思いますね。そういうことも踏まえて、形だけ、カーボンニュートラルって構えだけしときゃいいとか、ソーラーパネル2～3枚置いとくという話じゃなくて、本気でやるっていうことを考えなきゃいけないなど、心を新たにしました。

(委員長)

はい、では時間もったいないですので、早速描いていていただきたいと思います。現状の地図もありますので、それも、下書きって言うんですかね、使ってもらって構いませんので、最終的に、白地図の方をお互い2グループ見合っで総合していこうと思います、そちらにしっかりしたものを完成させていただければと思います。ちょこちょこ、合いの手を入れたり、2グループ繋いだりするようなことはしますが、基本的に1時間まるっと全部使ってもらって、描いてもらいたいと思います。

はい、では、始めてください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (約65分後) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・

(委員)

それではこちらの班の、説明をいたします。子供たちの、、、

(事務局)

お名前をどうぞ。

(委員)

〇〇でございます。

(拍手)

(委員)

ありがとうございます。子供たちの提案を頭に入れながら、色々考えました。

1番最初に論点があったのは、体育館の位置です。結果的には現状の位置の中で、ただグレードが色々今後検討していくでしょうけども、体育館の性質としては、体育館のスポーツはもちろんですが、子供たちから出た、意見が出た防災倉庫・防災施設としての避難所、これが二つとも併設して、なおかつ、典武館があった武道場を中に入れるということです。それから、子供たちの提案にあったWi-Fiが飛ばせるような、それからソーラーパネルの蓄電池も含め、ゼロカーボンも追求するという事で体育館を配置、それから、民間こども園が北側になります、ちょっと日照の問題というものを検討しましたけれども、この位置におきます。

それから、北側はみんなのプールということで、若干、防火用水の要素も含めて、小さい小型のプール設置していくということでテニスコートも今後便利になります。それから、生き生きサロンですけども、産業遺産ということで、これは動かせないだろうということでこれを活かしながら、このエリアについては、子供が遊べるように、全芝を北から南まで、全部の天然芝をして、できるだけフラットにして高頻度で使えるような、イベント広場としての性格を持ったものを整備して、若干の起伏はありますけれども、基本的にはフラットの芝を整備していくと。

もちろん、植栽もしますけれども、低く抑えてということになってまいります。

それから、遊具も極力少ない形で整備していくということで、広場には子供たちが自由にサッカーが出来たり、キャッチボールが出来たり、ころんだりというふうな空間とともに南側の植栽ですが、専売公社のクスノキがあります。

こういった大きな木も、できるだけ活かしながら、景観をしっかり守って、市民の森として南の空間を考えて、出来たらここに、イベントができるような空間として基盤整備をきちっと事前にしておくということを提案していこうじゃないかということで、こういうことになり、出来たら、今のこの横のところにカフェとかを誘致してカフェエリアとしても、空間を活かしたエリアにして市民が憩えるようなものにしていくということです。

それから、周りについては周遊路をつくって、生涯スポーツまたは散歩、老人や障がい者が自由に歩けるような空間として周遊路を設けるということです。

駐車場は、現状程度確保してしていくということ、北側、将来的に駐車場として考えていうことになっております。

あと全体の柱としては、先ほど言いましたように、完全なバリアフリー、インク

ルージヨンのような考え方を持った施設形態に考えていっていく必要が有るんじゃないかというふうに思っております。何か抜けてることがあったら。

(委員)

ただ、避難所としての意味も考えて、体育館となると同時に公園内にベンチをいっぱい併設してベンチ、トイレ、マンホールがあって非常用トイレになるとか煮炊きができる施設になるとか、そういうものも考えていく必要が有る。

(委員)

非常用トイレとしてベンチを利用する、それからみんなのトイレも設置していくということです。そして産業遺産としても、今後しっかり意味をつけていく。

以上です。ありがとうございます。

(拍手)

(委員長)

よろしいですか。

はい。個人的に面白いなと思ったのは、ソーラーで発電しつつ、昼間の間に蓄電池でためとして電源はこっから引いてイベントをやる。Wi-Fiもカバーしてやっていく。paypayで払えるように当たり前にWi-Fiも飛んでいる。駐車場ですけど、イベントの時の搬入口は・・・通れるようにしている・・・。はいありがとうございました。

(2組目)

(委員)

失礼いたします。遷喬小学校〇年〇組、〇〇でございます。(白っぽい図面をみせながら) 決してですね、1時間さぼっていたわけではなく、空地が多いように見えますが、まず、私たちのチームは、若手、消防、そして交通の先生ということで、私たちは今の立地に適したところを、まず出入口、そして車、そういったところの観点から、考え始めさせていただきました。

そしてまず初めに結論といたしましては、北側の土地に認定こども園を設置するということに断固反対いたします。

なぜならば、この宮芝からおりてきたところの久世保育園と、市営住宅の跡地がいつか、この公園に取り込まれることが見込まれるというお話がございましたので、ここの土地は、スペースは、やはりこども園にふさわしくないんじゃないかということで、こども園をですね、まず南側、これ先ほどスケジュールの話も出ておりますが、私たちも色々なことを計算しております。

ほかにはですね、〇〇さんの愛する典武館とそしてここに、テニスコートの有るところなんですけど、ここはすぐにでも解体して整地と工事にかかれるということで、こども園は、こちらの園舎の方は、実は南側の方に持ってこさせていただきます

おります。

そしてその下側、今も既存で駐車場がありますけど、そこの出入口を使って入れるようにということで、上側にあるとですねどうしてもですね、雨が降った日とか、この真庭の久世の方々はなかなか車から降りて歩くということをする方が少ないので、駐車場と安全面を配慮して一番南側に持ってこさしていただいております。

そしてその北側に位置するところに、ちょうど園庭を設けております。

こちらの園庭もやはり先ほども、芝までは制限が指示はございませんが、やっぱり芝生の緑化をしてですね、園庭を設けて、ここの安全対策でスペースをもうけて、きっちり区画されたところの出入口があれば、徒歩で通園してこられる保護者の方々も便利が良いのではないかとということで、スケジュール感にも間に合うようにということも配慮させていただきました。

そして、肝心の体育館でございますが、スペースは、先ほど指示があったので既存のサイズとさせていただき、この中にはですね、もう多分これは二階建てなんだろうと思っております。

なぜならば、観客席は逆に取ってしまい、体育館の中に生き生きサロンの設備、あと、会議室・ミーティングルームといったようなもの、そしてその防災機能を満たすための、それに対処する職員が常駐できるスペース等も組み入れた体育館を考えております。

そしてその北側には、先ほど子供たちの意見が沢山ありましたように、木であったり、花であったり、あと東屋であったりベンチであったり、おそらくそういったベンチとかいうものは今のご時世防災の観点からも色々と、多機能の防災用となったベンチ等を考えております。そして何よりもこの、全面を芝生化してしまっております。既存のですね、何かをこちらが先に設置しておくことじゃなくて、まさにみんなの公園はみんなで使い勝手をよくしてここの芝生を有効に使っていきましょう。

そして、なおかつこの、久世保育園と市営住宅のあるところには、屋根つきの、落合の白梅のゲートボール場の、壁が無い版を思っただけであれば良いなと思いません。

屋根にはですね、当然太陽光等を載せますし、そういったところで、さっきのゼロカーボンの話もありましたし、SDGsのこともありますし、そういった屋根付きであれば、今この久世地域はですね、たまに日本で一番暑いなんていう日がありますし、これからのご時世、こういった環境になるかも分かりませんので、そういったものを構築するのは良いんじゃないでしょうかということで、まさにみんなの公園、みんなで使い勝手良く、楽しんで通える、そして人が集える場所の公園ができればなと思っております。

以上でございます。

(拍手)

(委員長)

ちょっと現実的な話も踏まえながら、幾つか解決しなきゃいけないんですが、事務局的に、こども園は、今は北側でということになってます。

南側に作る可能性は先ほど典武館も一気に全部潰してしまえばスケジュール的に可能だということがありました。そういう事が可能性としてありますか？

(副市長)

これからの議論に影響いたしますので、これについても明確にお答えさせていただいた方が良くと思いますが、私どもとしては冒頭申し上げましたように、事業者の提案も踏まえながら今の保育園との関係、位置関係とも考えながらですねやはり北側ゾーンに、基本的にはこども園については設置する方向です。

(委員長)

そうなってきましたと、恐らく、こちらのグループの発想は車の行き来とか駐車場の配置の問題で、こちらが最適だろうという、おそらく思考法だったんだと思います。こちらはこども園ありますけど、送り迎えの駐車場は、イメージとしては、いずれここを駐車場にするということなんですけど、それまでのところはどう考えてますか、職員の駐車場はそのままどっか借り上げてしまえば良いんじゃないかな・・・送り迎えの駐車場どうしたら良いんでしょうかね、、その辺り事務局としてはどうですか、その道路のイメージ、そこでの交通量、そして、駐車場としてのキャパシティ、この辺りがおそらく、公園デザインのまず大事な課題になっていきますよね・・・

〇〇先生あの、ごめんなさい、〇〇先生のイメージは車はこっちまで回りますか？

(委員)

なるべく避けたい。

(委員長)

なるべく避けたいということ。

(委員)

ある程度線引きをしたいというようなイメージを持ってしまして、できれば、北側は完全に歩行者とか自転車が通行するところ、今のところかもしれないですが、どうしても北側につくってしまうと、送迎の出入り、ここにつくって送迎駐車場がここだと、非常に距離があるというような指摘もあったので、できる限りこども園には送迎する形で駐車場を作るっていう条件と、それとかつ何ていうかな、公園の中の交通量、ここまで車呼ばないということであれば、もうこの南側にまとめて、かつ安全なコースがとれたら、この中で車の出入りを完結する、させるということでこっちが良いかなと。

(委員長)

こちらのイメージは、どうですか、車の行き来のイメージっていうのは。

(副委員長)

議論はしてないんです。

これだけ、日程がかかるようなところ、変えるとなると・・・

こっちも、こう入れるじゃないですか・・・

(委員長)

こっちをこう入ってくるということというイメージですか？

(副委員長)

こう入る・・・

(委員長)

あー

(副委員長)

こっちもこれも、ここ入ってくる。

(委員)

下から入っても良いぐらい。

(委員長)

だからこの公園は、ここは、いわゆる広い園で、ここはもう、いわゆる駐車場と建物が並んでる。車もここへ入ってくるっていうことですね、なるほど。

〇〇先生どうでしょうか。

(〇〇委員)

と言うことは、上側から抜けていくということですね

(委員)

上に抜かしていく。

(〇〇委員)

車の流れと言うのは、こういう流れになるということで、、、

いかがですか事務局としては

(事務局)

本日のご意見、もっともな話だと思います。ただこの公園内で保護者の方であるとか、職員の駐車場であるとか、確保するかどうかというところもまだです。事業者との協議もまだ進めてるところでございまして、その辺り決まらなないと、なかなか分からないところもあるんですが、基本的には全体計画の中で、今後専門コンサルタントも決まりましたので、検討してご報告させていただきたいというふうに思います。

(委員)

あの、ものごとの順番、考える順番の話なんですけど、例えばここの案でこういうアイデアをベースにちょっと考えていきましようかとなった時に、駐車場のこのイメージですと別にこれは確定でないんじゃないんだけど、もし民間事業者さんが駐車場をこっちにしてくださいって言われたらそっちが優先されるもんなんですか。

(事務局)

それは市の方の意向を汲んでいただくということになるかなと思うんですが、その辺りも協議中でございますので今この場で、はっきりお答えすることはちょっとは出来ない状態でございます。

(委員長)

だけど民間のこども園なので、通園される方々の地理的な範囲も結構広いことが想定されますよね。

(事務局)

このなかに、保護者用を含めるというよりもどちらかというと、送られてまた戻って行かれるのかなというふうなことが今は想定されるのかなと思いますし、その辺りについても、まだちょっと協議中ではございますし。この場で確定したこういうものがあるというものをお答え出来ないという状況ではございます。すみません、ちょっと歯切れが悪い問題ではありますけど。

(委員長)

そうですね。まとめるのはなかなか難しいのは難しいですね。

ちょっと共通性を見いだすとすると、体育館の配置は、両方とも中心部にある感じですね。いずれにしても、北に寄っているとか南に寄っているとかは無い。

(委員長)

これ、もしこっちのグループがこども園を北にすることになったら、この絵はどうなりますか。

(委員)

もともと、こども園を南にする理由というのは・・・こちらの茶色のところと、緑のところと、それらは後々一体的に一体的にオープンスペースとして使えるだろうと、つまり、みんなの公園として様々な使い方でやってほしいので、色々と「もの」を作ったりしないんだけど、一体的に使える空間になる可能性があるんで、そちらの北側に建物が無い方が一体的な利用の可能性があるのでことなんですね。

そうなんです。全天候型の屋根のついたものを作るというアイデアも、その中に出てましたけど。もう車のことを何も考えなくて、遊べるっていう空間になっていける可能性がある。

(委員長)

やっぱり、送迎を私もやってますけども、いわゆる荷物が多いので移動距離があると大変というか、こども園で横に車でしか来れない、送迎用の駐車場が無いとい

うのはちょっと岡山市内での想定はしにくいですね。岡山市内では基準があって、車で送り迎えして良い人っていうのは決まってるんですけども、それ以外の人は結構、離れたところに駐車場をとめて、歩いて来るといった感じなんです。

(委員長)

そうね・・・なかなかまとめるの大変だ・・・こんだけ違うと。

(副委員長)

まとめる必要は無いんじゃないですか。

(委員長)

まとめる必要は無いですかね。

(副委員長)

あと、事務局からの答弁ですけど、北に民間こども園をまわすというのは、自動車の処理からすると、それから近隣の住宅地からすると危険だというのが出て来るんで、こども園が南というのは、自動車交通を南に限るということは良いことだなとおもいますね。

民間こども園の経営者側からしても、せっかく出てきても地域の住宅地ともめるぐらいならば、変えて来られるかもしれないなと。

それから南にこども園が来る案を、提案していくということは良いことだなと思います。

ただ、そのそちらの案で言いますと、大木を大半伐採するということになりますので、これが気になることで、「カーボンニュートラルで、ああ全部片づけましたって」いう、要するに、えーという（意見が出てきかねない）。子供たちに発表してもらったんで、彼ら彼女たちが、「えー！」という公園だけは作りたくない。「あの人たちアホや」という話になりかねないところがありますから、子供たちの方がセオリー押さえてやってきてるとなると、して良いこと悪い事というのは押さえていかなきゃ。

こちらの案で言いますと自動車を北へ入れるというのは、やっぱり、エラーとする。細い道を朝ね・・・

(委員長)

かなり怖いですね。

(副委員長)

全てにおいて、民間の学園ですからこども園の方がですね、その辺りについては地域との問題が発生しないような判断を、また、方針を出していられるかなと思います。

(委員長)

これは、検討委員会のまとめはどのレベルで要求されているのでしょうか。

何かこう、見取図のようなものまで必要なのか、そういう押さえるべきポイントが箇条書きになっていけば良いのか・・・

(事務局)

あの、今回はこういう提案をいただきましたけども、取り入れられるものは取り入れたいと思っておりますし、このように申し上げましたけども、色んな法律であるとか制約がございますので、皆さんの意見を取り入れながら今後、事務局の方で、ある程度まとめさせてもらい、今日、五年生の皆様からも色々な意見いただいておりますし、そういったものをできる限り取り入れたもので、可能な現状でっていうのを（用意して）またもう一度、皆さんに寄っていただいて、また御意見いただきたいというふうに思っておりますので。ガチッと、ここで実現可能なものを、っていうよりかは、何か皆さん、大きな意見といいますか、そういうものをまとめていただければありがたいな、というふうに思います

(委員長)

はい、そしたら、二つ合わせてっていう地図にするっていうことまではいたしません。出てきた要素みたいなものを、事務局の方でまとめていただければと思います。

(委員)

（こちらの案は）カーボンニュートラルはどこで出てくるか、教えてもらえますか？

(委員)

一番西側の西側の屋根付きのところ、ソーラーパネルと体育館の屋根と、さつき木の話が出たんですけど、伐採した木はウッドチップにしたあと遊歩道の周りに敷き詰めさせていただこうと、はい。

(委員長)

ソーラーパネル置いときゃあ良いだろうという話がヒシヒシと・・・だけど、蓄電池は大事だということは感じられますね。体育館そのものが発電してるっていうことですかね。（子供たちの提案の）遊具で発電するっていうのは、すごくおもしろかったですよね。だから将来発電可能な場所っていうのが、何か見えてくると、今の技術で出来ないけど10年経ったら出来るようになってくるものが沢山あるという気がします。何か色々、その余地が残った方が良いと思うんで。基盤整備、ちゃんとされることでしたけど、ちゃんと。

今は使わないでも、電線が通ってることはあった方が良くもありませんね。繋いだら、電源をそこから取れるとか。

(副委員長)

多分、電線も要らないようになってる。

(委員長)

電線も要らなくなる。たとえば地下で？

(副委員長)

電波で。

(委員長)

電波で、ははは、電波でね。そうですね。非接触で充電ができる時代ですからね。

(委員長)

こっちは、何でしょう。

(副委員長)

この緑色のハッチのところは抹消です。

(委員長)

抹消ですか。これとこれと、ひょうたん型のこれだけになりました。

(副委員長)

(ディスカッションで) 50mプールを描けってことで描いたら、そこまでいらな  
いか、ってことでひょうたん(型のプール) だけで良いかと。

(委員長)

そこまでいらないかと。そうですか。そうですか。

じゃあ、ここは全部芝生ってことですかね。テニスコートのところまで芝生にな  
りますかね？

(副委員長)

そこはテニスコートで。

(委員長)

テニスコート。

(委員)

ここは残しておいて。ちょっと残して。

(委員長)

まあけど(テニスコートや芝生は) だだっ広い更地、といえは更地なので、ど  
うとでも重ねて使えますよね。

(委員長)

はい。ありがとうございました。そしたら、もうこれで何となく、見えてきたこ  
ともありますし、今までの議論の蓄積もありますので。

(委員長) (副委員長が挙手)

はい、どうぞ。

(副委員長)

ちょっとおこがましいですけど・・・今まで、今日の、子供たちの発表も含めて、

見て分かる整理が出来ないのかなと。これはこれからちゃんとやってもらいたいんですけど、例えばこんなやつということで・・・よろしいでしょうか。

小学生の発表を聴いておまして、なにか、うまく体系化が出来ないかなと。今まで委員会でも、出た話なんですけど、

(表に記しながら) 高齢者、子供  
横軸なんですけれど、ちょっと考えたんですけど、

(表を示しながら) 自然と人間が、ぶつかってる状況。  
で、こっちはうまくいく方向。自然と人間が向かって問題が起こってる、というのが、災害で、それを防ぐのに、防災を考えていく  
自然と人間がうまくいってる場合というのは、環境が、保全がうまくいってる。それから、省エネとか、うまくいってる。これが、こっちの方向ですね。

あと人間の側なんですけど、高齢者の方になりますと福祉、この公園でいうと、バリアフリーとか、それから、私がやってますリハビリとか、そういうことですね。

子供たちの方でいうと、体育とか、元気な盛りってのは、スポーツをされていると。

それで、この当たりで今日も子供たちが頑張って発表をされてましたけど、この公園に対しての福祉面防災面、それから環境保全・省エネ面、一方では、子どもたちの育ちとか。これですよ。なんか、今まで、委員会で出てきた部分、ちょっとこれに入れてみたんですけど。これでいくかどうか。

今日、子供たちの発表聞きながら考えてみました。

この軸の設定を変えてみたり、この公園の基本理念と言うか基本方針みたいなものが少しでも体系的にならないかなとそう思ってる次第です。

以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

機能のところも、前回の検討委員会まとめたものを作っておりますけど、少し構造的に洗い直してみると、色々、機能の整理がしやすいのかも知れませんね。

(委員長)

はい、では、時間が過ぎておりますが、構想段階の検討委員会は、これでおしまいにしたいと思います。今後の予定ですが、どんなイメージでしょうか。まだ日取りは何日も決まっていますが・・・

(事務局)

閉会の中でも申し上げようかなと思っておりましたが・・・

本日は、貴重な御意見、また案については、配置計画であるとかとかについては皆様、色々なご意見をいただくことができたことを感謝申し上げたいと思っております。

先ほど申し上げましたけれども、今日の検討委員会の御意見は、できるだけ基本構想に盛り込んでいきたいと考えております

ただ、公園敷地の面積につきましても2.4ヘクタールとそう大きいものではございません。御手元の資料にお配りしておりますが、北町公園、今後の機能配置という視点という資料のとおり、先ほど申し上げましたけれども、都市公園法では公園面積の、12%以内の建築面積の建物しか建てられません。これが屋外も含めまして、スポーツ施設では50%の面積以内など、法で決められたさまざまな制限があります。また、今回の提案の中でもありましたけど、施設の効率化や、効果的な整備の観点からですね、武道場との複合化であるとか、多機能化、また周辺施設とも役割分担による、施設総量の削減など、市としても課題に常に取り組んで行く必要もございませ

す  
次回の検討委員会につきましては、今も申し上げました課題、「防災・グリーン・カーボンニュートラル・共生」などのキーワード等、皆様方からいただいた、理念や機能についての様々な意見また今後行っていきます。近隣や利用者などとの意見などを、また法とのバランスをとりながら、また事務局の方において、整理させていただいたものに対して、また、意見をいただきたいという場を設けたいというふうに考えております。

また日時につきましては、後日調整させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します、そういった感じで、ちょっと今後進めていこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(委員)

あの、一点よろしいでしょうか。先ほど、これからと仰られたんですけれども、是非ともですね、現在の利用団体や利用者とのヒアリング等ですねしっかり厳密にさせていただいて、合意形成や説明をきちっとできるように、強く求めたいなと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(事務局)

はい承知いたしました。

## 5.閉会

(事務局)

よろしいでしょうか（ほかに意見のありそうな方がいないか周りを確認して）  
それでは閉会に移りたいと思います。  
閉会に当たり、渋谷副委員長、閉会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

（副委員長）

子供たちの発表を聞かせていただきまして、「小学校5年生っていうこのレベルなんだな」と（思いました）。

私はいつも授業で学生たちに言っていますが「小学校5年生に説明出来たら、学生としてほんまにに分かってるんだ」と言っておりますと（がくせい）「そんな難しいことできるか」と（いいます。）

最近はおまけして、「中学校3年生に、理解出来たら良い」と、ちょっとおまけしてるんですけど、改めて思い直しました。

「小学校5年生に、分かるまで学生を鍛えるべき」だと。

分かりやすく、具体的に、言葉で逃げずにということで、子供たちの話を聞いて勇気づけられました。

その勇気付けがこの、心だけは若い、頭だけは若い、中高年と言ったら失礼ですが、私は老人ですけれど、このメンバーで非常に力の入ったものが出来たと思います。

しかも、タイプが違うので非常に、これから、良いかなと・2個、似たのが出たら、先々困るんです。今回は根本的に違います。

お互い相手の案に敬意を表するような内容が入ってたんで、2チームだったけど良いものが出来たと思います。今まで私もちょっともやもやしてたんですけども、今日は気持ちよく帰ることが出来ます。

大体、この辺りなんだな・・・という感じがいたします。ということで、気持ちよく、十月が、終わられる。

一つつけ加えさせていただくと、公園というのは、でき上がってからの運営管理というのが非常に大事ですし、手間も要ります。

これからの半年が、非常に大事で、市民の方、今後、この公園に、運営に参画していただける方々を巻き込んで、一肌二肌脱いでくださる方々が、何とか部会、防災部会とか、環境部会とか、これが、健康部会とか、福祉部会とかそういう形で、これを運営していく。

ある程度、市が、方針を委ねれるような運営委員会みたいなものが、じわじわとでも出来てくれば非常に市役所は仕事が楽になると思います。

私も元公務員ですので、この公務員殺しのセリフは効き目があると思うので・・・

行政として楽になるのは、市民をここでしっかり巻き込んで、「私たちが、首を突っ込んでしっかり言うてやった公園なんだから力を貸していこう」というより、「我々が頑張っていこうと。」という機運になると思います。

ということで、長くなりましたけども、（ほっとして）今日は、帰ってゆっくり、日本シリーズのつづきが観れる・・・終わります。

(事務局)

ありがとうございました。

ではこれで散会いたします。

どうもお疲れさまでございました。